

いのちのバトン「救急医療情報キット」

～もしもの時のために～

救急医療情報キットとは・・・

かかりつけ医や受診歴などの医療情報と、緊急連絡先など緊急時に必要な情報を記入した用紙を筒状（バトン状のもの）のキットに入れ、冷蔵庫に保管して万が一に備えるための物です。

救急時は本人も家族も情報を的確に伝えることが難しい場合があります。また、一人暮らしや日中単身者の場合、家族への連絡が困難な場合も想定されます。救急車を呼んだ時、救急隊員が救急医療キットを取り出し、スムーズな救急医療に生かすものです。

また、災害が起きた時は各自で救急医療情報キットを持って指定の避難所へ避難しましょう。

町では、平成24年の2月に各世帯へ配布しています。数年経過していますので、紛失された場合は問い合わせください。

▼問い合わせ／舟形町健康福祉課地域保健係 ☎（32）2111（内線340）



舟形診療所について

9月11日付けの山形新聞で『舟形診療所 閉鎖へ』という見出しで、「舟形診療所が年内で閉鎖することが決まった」との記事が掲載されましたが、『閉鎖』の予定はありません。

【これまでの経緯】

現在、ふなしんで診療に当たっていただいている原田医師から、町長に対し「診療所を平成30年12月いっぱいまで辞め、平成31年3月に施設を引き渡したい」との申し出がありました。

原田医師には、26年間の長きにわたり、地域医療の推進や健康増進にご尽力いただき、深く感謝しているところです。

【今後、町として】

舟形診療所は、町民の健康と福祉を確保する上で、なくてはならない大切な医療機関です。このため、町では原田医師の後任の医師においでいただくべく、関係者と調整をしているところです。

舟形診療所は、『一時休業』することが見込まれますが、『閉鎖』するものではありません。

町民の皆様には何かとご不便をおかけするかもしれませんが、町としても後任の医師ができるだけ早い時期に開業できるよう努めてまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

▼問い合わせ／舟形町健康福祉課 ☎（32）2111（内線331）

広告

舟形徳洲苑 ボランティアさん募集

- ・入所者様のお話し相手・紙芝居や民話のお話・各種手芸や編み物・民芸品づくり など
- どんなことでも結構です。お気軽にご相談ください！
※交通費支給いたします。当苑で損害保険加入いたします。



☎0233（35）2228 担当：小関・後藤

みなさんの趣味や特技を活かしてみませんか！

100歳 元気プロジェクト

～No.2～

安心して妊娠、出産、子育てできる環境づくりを

妊娠や出産、子育ては、家族が増えるうれしさや子どもの成長を感じる喜びがある一方で、不安や悩みを抱えることも多いものです。こうしたことに対応するため、保健センターに設置してある「子育て世代包括支援センター」や、ほほえみ保育園内に併設されている「子育て支援センターみらい」では、妊娠期から子育て期を通じた切れ目のない支援を目指しています。

子育て世代包括支援センターの主な取り組み

妊娠前

- ・妊娠に関する相談・啓発、不妊相談等

妊娠期

- ・母子健康手帳の交付 ・支援プラン作成
- ・育児プレスタート講座
- ・妊婦健康診査
- ・妊婦さんとお母さんの定期健康相談

出産～乳幼児期

- ・ようこそ赤ちゃん応援メッセージ事業
- ・ベビーマッサージ講座
- ・ブックスタート、ブックスタートフォローアップ事業
- ・乳幼児健康診査 ・予防接種
- ・離乳食教室 ・ふれあい育児の広場
- ・保育園、子育て支援センターみらいと連携した子育て支援サービス

【主な助成事業】

- 新生児聴覚検査費用助成 新規
- 一般・特定不妊治療費助成
- 大人の風疹予防接種費用助成
- 小児インフルエンザ予防接種費用助成



問い合わせ／舟形町健康福祉課地域保健係 ☎（32）2111（内線340）

子育て支援センターみらいの主な取り組み

0歳から保育園入園前までのお子さんと、その保護者を対象に、一緒に育児について考え支援します。情報交換の場としても活用されています。

主な事業

- 育児相談…育児やお母さん自身のことなど、何でも相談できます。
午前8時30分～午後4時30分
- ふれあい育児の広場（月1～2回）…季節の遊びなどで親子の交流を図ります。
- 遊びの場として利用 午前9時30分～11時30分 午後3時～4時30分
 - ・遊びの広場（第2・4水曜日）：親子で楽しめる簡単な製作を用意しています。
 - ・お話広場（第3木曜日）：絵本の読み聞かせと手遊びを行います。

▼問い合わせ／舟形町子育て支援センターみらい ☎（32）2120